

親鴨会 2022年9月メッセージ「今日から明日」

酷暑も一段落した感じのある日、国立新美術館に行った帰り、久しぶりに六本木交差点から飯倉、そして旧 IBM 本社の辺りを散策しました。2005年の退職時に勤務していた本社ビルだけでなく西館やプリンスホテルも今は無く、再開発されて巨大なビルが壁面を輝かせています。こうした新しいビル群も発展の一環と考えれば、あの頃の「六本木」は私の心象風景として残しておくことで満足するしかないのでしょうか。

共通の時代を生きた仲間同志でも、その共有した体験から記憶されている印象は様々です。「あの頃は」より「今どうしてる」という会話になにやら落ち着きを覚えるというのも、そうした多様な記憶の為せる業なのかもしれませんね。

そうした中、職場の先輩と20年振りにお会いしました。IBM退職後はお互い違った道を歩いたこともあり、お会いするチャンスはありませんでした。ただ、年賀状のやり取りは続けていましたので、親鴨会の件でお電話をしたところ、食事をしようと言う話になりました。

20年間の容姿の変化に加えて、時節柄マスク姿での待ち合せは相互認識が出来るのか不安でしたが、どうにか合流を果たし、ゆったりと流れる時間を楽しみました。

「今、どうしてる」から「こんなことがしてみたい」という話まで、まだまだ旺盛な好奇心とともに、心身共にそこそこ健康であることをお互いに確認できました。

「またお会いしましょう」、「じゃあ、また」と挨拶をする我々の間を気持ち良い風が吹き抜けて行きます。その夜、先輩から「話をしている、今日を何か新しいことが始まる日にしたいと思った」というメールを頂き、明日に向けての嬉しい締めくくりになりました。

親鴨会 会長
内池 正名